

## 第3回 松尾・下久堅地区治水事業協議会 議事要旨

### 1. 開 会

松尾・下久堅地区治水事業協議会委員19名中、18名が出席し、協議会が成立しました。

### 2. 事務所長挨拶

### 3. 委員長挨拶

### 4. 議 事

(1) 第1回、第2回 松尾・下久堅地区治水事業協議会議事要旨について  
第1回および第2回の協議会の議事要旨を説明しました。

(2) 松尾・下久堅地区の治水対策について  
松尾・下久堅地区の治水対策について説明しました。

### 5. 閉 会

## 6. 協議会で頂いた主な意見

- ・BおよびE案において、掘削する断面積の最大値を教えてください。
- ・B案における鷺流峡上流の左岸側の掘削方法について教えてください。
- ・ラフティングのガイドとして、南原橋下流の掘削について、左岸の絶壁が男性的で美しいので崩すのは惜しい。従ってB案とE案では左岸を掘削しないB案が良い。
- ・B案とE案ではどちらの予算が安いのか。また、左岸を掘削しても河床には土砂が堆積しており、鷺流峡内の河床を下げるという考え方はないのか。
- ・今後、別途バイパストンネルを掘るといような余地があり得るか。予算ありきでできないという話なのか、事業ありきの話なのか。
- ・本事業は河川整備基本方針にのっとって行なわれるものなのか。
- ・河道計画を行なう上では、平面形、横断形に加え縦断形も考慮する必要があるため、説明資料に縦断図を追加してもらいたい。
- ・B案E案を実施した際に、滞筋がどのようになるのか教えてください。また、工事期間はどの程度かかるのか。
- ・南原橋上流の掘削について現状の滞筋は松尾側に流れているが、真直ぐな流れにしてはどうか。
- ・全体について、当初は鷺流峡全体の掘削になった場合にはどうしようと心配していたが、部分的な掘削で済みそうなのでほっとしている。景観的には、明治以降かなり変化する中で、必ずしも固定する必要がないのではとの意見も出ている。鷺流峡区間の掘削範囲も平水位より上ということで、普段の水位における瀬等の状態は変わらない。環境に対して、影響を最小限にする工夫で対応可能と感じている。ただし、環境面については継続的な調査も必要であるので、進めていく。
- ・鷺流峡の検討は河川整備計画の一環として実施している。河川整備計画の上位計画には河川整備基本方針がある。鷺流峡の問題を解決したら整備が終わりではなく、河川整備基本方針に向かって長期的にこの先も続いていく、その中の一環として鷺流峡の検討を行っている。
- ・鷺流峡の岩盤を掘削する場合、岩質によっても異なると思われるが、法勾配はどの程度を想定しているか。
- ・鷺流峡の治水事業を進める上では、まだ技術的な検討が多く残されている。掘削の仕方によっては、景観上の問題が生じる。今後、一番良い切り方について具体的に検討していく必要がある。また、河床の土砂の動きに関する検討や、実験も残っていることなどから、これらの検討を踏まえ、今後、対策案を絞り込んでいく。